

一般社団法人日本調理科学会 平成 24 年度第 4 回理事会議事録

日 時 平成 25 年 1 月 26 日 (土) 13:30~16:00

場 所 一般社団法人日本調理科学会事務局 (東京都文京区大塚 3-36-5 長島ビル 3 階)

出席者 大越ひろ会長、長尾慶子筆頭副会長・香西みどり副会長・長野宏子副会長、飯田文子・石井克枝・和泉眞喜子・笠松千夏・河野一世・佐藤之紀・四宮陽子・白杉直子・杉山智美・高倉 裕・成清ヨシエ・西堀すき江・山下満智子各理事、磯部由香・高村仁知・津田淑江・吉岡慶子各支部長、今井悦子監事、委任状出席は大谷貴美子・北尾 悟各理事、加藤みゆき支部長、真部真里子監事、欠席は菅原悦子支部長 (理事 25 名、監事 2 名、合計 27 名)

本日の理事会は定款第 33 条 (理事 25 名中 24 名出席) の規程を満たし成立。

1. 会長挨拶

大越ひろ会長より挨拶があった。

2. 議長選出 大越ひろ会長

議事録作成人 白杉直子庶務担当理事

議事録署名人 会長および長尾慶子筆頭副会長、今井悦子監事

3. 前回議事録確認 (資料 1)

第 3 回理事会議事録 (資料 1) の 4.4) に記載された学会賞選考委員会の委員交代があり、長尾慶子先生が長野宏子先生に交代することの修正が承認された。

4. 議事および報告

1) 常置委員会の報告

① 編集委員会 (資料 2)

- 論文投稿規程および細則の変更 (平成 24 年 12 月 15 日付) の報告があった。また、復興特別所得税を学会負担とするため、依頼原稿の謝金引き上げの実施、論文作成指導アドバイザー制の導入について報告があった。広告掲載料の現状報告 (うまみ調味料協会の掲載取り下げなど) と、掲載状況の報告があった。
- 委員会より、広告料減額と賛助会員への減額特典の提案があり、審議の結果、裏表紙は、税込 3 万円 (賛助会員 2 万円)、表紙裏側・裏表紙裏側は、税込 2 万円 (同 1.5 万円)、後付けは、税込 1.5 万円 (同 1 万円) とすることが承認された。ただし、第 46 巻・第 1 号は現行価格とし、第 2 号より実施する。この内容については、学会 HP に広告に関するお願いとして掲載することが提案され、承認された。なお、裏表紙は、第 46 巻第 1 号に味の素株式会社、第 2 号に大塚食品株式会社が掲載予定である。
- 号数の変更案 (従来の 2 号を 1 号) については、検討の結果、従来通りとすることが報告された。

② 情報管理委員会 (資料 3)

- 現行の会員管理システムについて、簡易なソフト活用の検討と会員番号を平成 25 年度より使用することが報告された。
- J-STAGE に平成 24 年度研究発表会要旨を公開した。
- JST の電子ジャーナル事業に申請し、アーカイブ事業の採択実績があるので、電子ジャーナルも採択される見込みとの報告があった。
- 電子ジャーナル準備委員会の立ち上げが提案され、承認された。なお委員は、綾部、藤井、平尾、石井、飯田の 5 名とし、香西、長尾両副会長が協力する。

2) 平成 25 年度の代議員総会およびシンポジウムについて

- 代議員総会を 6 月 2 日 (日) にお茶ノ水女子大学で行い、総会後にシンポジウム「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」(仮題) を行うので、講師は江原絢子先生を予定している。

3) 平成 25 年度事業計画(案)および収支予算(案) (資料 4)

- 平成 25 年度の事業計画案が提案され、併せて収支予算案についても審議された。
- 事業計画について説明がなされ、承認された。
- 収支予算案については、前年度予算との差額についての説明があり、特に、特別研究「次世代に伝え継ぐ

日本の家庭料理」に関連する予算が200万円計上されたとの説明があり、承認された。

4) 平成25年度学会賞について

- ・ 功労賞受賞候補者の推薦を3月31日までに支部長が推薦を行うことが依頼された。
- ・ 学会賞並びに、奨励賞についても、3月31日までにぜひ推薦してほしいとの依頼があった。

5) 代議員の任期について

- ・ 平成26年1月に現代議員の任期が終了するため、各支部では代議員選出を平成25年12月末までに終える必要がある。支部ごとの代議員の割り当て人数については平成25年3月31日時点の人数をもとに計算するとの説明があった。

6) 規程委員会の報告（別紙資料参照）

- ・ 香西規程委員会委員長から、規程の修正点について資料（訂正箇所を下線で提示）の基づき説明があった。西副会長より、詳しい説明があった。なお、規程の検討にあたっては、中田コンサルティングと相談する。以下の問題点が提案され、再度修正を行い6月の理事会に提案することになった。
 - a. 新入会員入会日の定義について、会員の入会は理事会の承認事項なので、検討する必要がある。
 - b. 会費未納者について、会費督促の働きかけを行う。
 - c. 選挙管理委員会内規については、6月末までに訂正する。
 - d. 編集委員会規程に論文審査内規がないため、今後作成を予定している。
 - e. 情報管理委員会規程(任務)の第2条は、内規とする。
 - f. 学会賞受賞規程（設置）は、日本調理科学会学会賞と名称変更し、内規を作成し、HPに載せる予定である。

7) 研究委員会の報告

- ・ 「刊行委員会」は委員長を畑江先生から的場先生に交替し、副委員長を大越先生、委員は市川・香西・河野・森高の各先生である。学会の広報としての役割がある。著者割付について交渉したいとのこと。
- ・ 「災害時のメニュー開発に関する研究委員会」（石井理事）は、大会期間中である平成25年8月24日に炊き出しを実施する予定である。関西大学の防災学科の学生にボランティアを依頼しており、災害時キャンペーンの場所も確保済みである。また、『災害時炊き出しマニュアル』を賛助会員52社に一部ずつ発送した。
- ・ 「特別研究」（長野副会長）については、資料（資料5）に基づき説明があり、会員番号として行事食調査の番号をつかうことが報告され、参加申し込みは支部長宛とし、締め切りは平成25年3月末とする。

8) その他

① 次期（平成25年度）大会について（資料6）

高村近畿支部長より、研究発表をOHCによるものにした。

② 次々期（平成26年度）大会について

- ・ 次々期大会は中国・四国支部が担当のため、開催予定地は県立広島大学広島キャンパス（旧広島女子大学）である。佐藤理事より、日程案は平成26年8月29日（金）30日（土）が候補であるが、入試との重複が懸念材料であり、その場合は9月2週以降に延びる旨の報告があった。
- ・ 大会の組織については、大会会長を佐藤之紀先生、実行委員長を鈴峯女子短期大学 岡本洋子先生、同副委員長を県立広島大学 杉山寿美先生の予定である。

以上

署名人	議長	大越 ひろ	印
	理事	長尾 慶子	印
	監事	今井 悦子	印